

大仏師運慶について

—最新の研究成果から—

講師 **瀬谷 貴之** 先生
(神奈川県立金沢文庫学芸課主任学芸員)

本研究所では特別講師に瀬谷貴之先生をお迎えし、下記の日程で講義を開催いたします。
どなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。(聴講無料・予約不要)

[時間] **15:10~16:50**(4時限目)

[場所] **総合仏教研究所 研究室1**(3号館4階)

- 第1回 5月13日(月) 運慶研究の最前線—鎌倉永福寺の大造像—
- 第2回 6月17日(月) 運慶と南都—復興と霊験仏信仰をめぐる造像—
- 第3回 7月 8日(月) 運慶と東国武士—新発見の作品を中心に—
- 第4回 10月 7日(月) 運慶と京・天台—運慶願経をめぐって—
- 第5回 11月11日(月) 運慶と真言密教—東寺再興造像—
- 第6回 12月 9日(月) 運慶と浄土信仰—願成就院と浄楽寺—

【講義概要】

大仏師運慶は、平安時代末期から鎌倉時代前期に活躍した日本史上最も著名な仏師として知られる。その一方で、近年までその確実な作品は、円成寺大日如来坐像、伊豆の願成就院諸像、三浦の浄楽寺諸像、東大寺南大門金剛力士像、興福寺北円堂諸像と5件の作例しか知られていなかった。

一方、平成19年に金沢文庫で保管する大威徳明王像が運慶最晩年の仏像作品であることが判明し、また興福寺西金堂伝来の仏頭(釈迦如来)が古記録からやはり運慶作品であること判明した。またこれより以前、平成16年には個人蔵の大日如来坐像(現真如苑所蔵)が運慶作品である可能性が高いものとして紹介もされている。これらの新発見・再発見や、神奈川県立金沢文庫や東京国立博物館での展覧会の成果を得て、近年の運慶研究の進展には目覚ましいものがある。

本講座ではこれらの新出作品や新出の関連史料の情報も得ながら、最新の運慶研究について、仏教史的な視点も交えて紹介しようと思う。

【問い合わせ先】 大正大学総合仏教研究所 03-3918-7311(代表)

https://www.tais.ac.jp/library_lab/sobutsu/

※日程等に変更が生じた場合は、随時、上記HP上にてご案内いたします。